

**第17回原子力保全改革検証委員会で  
頂いた意見への対応状況について**

**平成24年5月18日  
関西電力株式会社**

## 第17回 原子力保全改革検証委員会で頂いた意見への対応状況

平成24年5月18日

分類	意見	対応状況
美浜発電所3号機事故再発防止対策の実施状況について	原子力監査グループの体制見直しについては、今後、その効果等の確認を行い、引き続き、監査にふさわしい体制を求めていく姿勢を期待したい。	一定の期間運用した後、体制見直しの効果について評価を行い、更なる改善を図ってまいります。
安全文化醸成活動の実施状況について	津波が到来したが冷温停止することができた女川原子力発電所等の事例や、福島第一原子力発電所事故の対応支援のため関西電力から派遣された社員が、直接、現地で見、肌で感じたことから得られる教訓を、安全文化の醸成活動に活かしていくことも大切だと思う。	福島第一原子力発電所事故の対応支援のため派遣した当社社員が現地を感じたこと等につきましては、平成23年度の安全文化評価のセルフアセスメント等において聞き取りなどを通じて抽出し、安全文化醸成活動へ反映しています。 また、女川原子力発電所、福島第二原子力発電所等の事例につきましても、今後、福島第一原子力発電所事故の教訓と併せて安全文化醸成活動へ反映してまいります。
	若手社員育成の充実・強化のための各施策については、育成担当役付等に加えて、育成対象である若手社員の意見・評価等も踏まえながら、長期的にもフォローして、更なる改善に努めてほしい。	各育成施策を実施後の若手社員に対し、原子力事業本部へ異動後も、各人の職務を遂行するにあたり各種育成施策が役立っているかについて意見を聴取し、継続的な改善につなげてまいります。
平成23年度下期の検証テーマと検証の視点について	関西電力が安全対策の説明をする際には、規制要求を満足しているから大丈夫だという説明だけでなく、過去に蒸気発生器取替に予防保全的に取り組んだように、規制要求レベルをさらに踏み込んで対策を講じているような説明をしていくことがよいと思う。	平成24年4月9日に「大飯発電所3、4号機における更なる安全性・信頼性向上のための対策の実施計画」を経済産業省に報告した際に、社長から「規制の枠組みにとらわれず、安全性向上対策を自主的かつ継続的に進めていく」という強い決意を社会に表明しています。 また、電気事業連合会の活動としても、各電力会社社長のコミットメントの下、世界最高水準の安全性を目指して電力会社を牽引する役割や、プラント停止勧告の権限により、電力会社を牽制する役割を担う独立した新組織の年内設立に取り組んでいます。 今後、これらを踏まえた当社の活動について、いただいたご意見に留意した説明・情報発信に努めます。